

令和4年度 第2回松山地域協議会会議録

日 時 令和4年11月7日(月) 午後1時45分～3時

場 所 眺海の森「さんさん」

出席委員 8名

齋藤 明 阿部 喜久子 清野 淳 加藤 恭子
平向 邦夫 榎本 和介 齋藤 紀代 須田 良

欠席委員 6名

佐藤 徳康 小林 正利 富樫 とも子 荘司 東一
齋藤 薫 三浦 由美

酒田市出席者

| | |
|----------------|--------|
| 松山総合支所長 | 出 嶋 亨 |
| 松山総合支所長補佐 | 丸 藤 真也 |
| 松山総合支所長補佐兼建設係長 | 堀 伸 一 |
| 松山総合支所地域振興主査 | 阿 彦 求 |

1 開 会

○開会の言葉 出嶋支所長

2 会長あいさつ

○平向会長からあいさつ

3 議事録署名人の指名

○会長が議事録署名人に、齋藤紀代委員を指名

4 議 事

(1) 保育園バスについて

～出嶋支所長が説明～

(齋藤明委員)

保育園児は、現在何人いるのか。

(出嶋支所長)

令和4年度で65人いる。

(齋藤明委員)

保護者が納得しているなら、問題ないと思う。

(平向邦夫会長)

場合によっては救済措置もあるということなので、問題はないと思う。何か意見はあるか。

(意見なし)

(2) その他

(平向邦夫会長)

松山地域協議会について、前々からの課題だが、今年の第1回の際にも闊達な意見がほとんど出なかった。苦情のような話はあったが、このような内容では地域協議会の趣旨に合っていないと思う。このような会議でいいのか、支所の担当者とも相談している。平田地域協議会では今年度、すでに4回の会議を終えていて、内容も非常に活発な意見が出ていた。

2月の市長報告会では、会長と副会長が市長と会って提言を述べるが、特別な案件もないようでは協議会の意義がなくなる。松山をどうしたいか、あるべき姿を一生懸命考えて、声を出してもらいたいと思う。

(須田良委員)

昨日、松山秋まつりがあり、私も松毬という団体が直売をさせてもらったが、多くの人の流れがあった。9月のくらふとフェアにも大勢集まったが、このようなイベントをすると賑わいが出る。月1回は難しいとしても、目玉となるイベントがもっとあるといいと思う。郷土品や特産品を買える所があれば人の流れが出ると思う。

(平向邦夫会長)

私もくらふとフェアを今年初めて見学に行った。雨ではあったが、素晴らしいイベントだと分かった。攻めの気持ちを持って松山を盛り上げていくという観点からすると、イベントは大事だと思う。さんさんを利用したイベントもしてほしい。1回の単発でなく、商工会や総合支所の応援をもらいながら、春も秋もしてほしい。以前の会議で、駐車場が足りない、トイレが足りないという話もあったが、イベントが活発になればそのような問題も改善されるかもしれない。

コミ振単位では、そばまつりやホテル観賞など頑張っているところもあるので、松山全体でも頑張してほしい。

(榎本和介委員)

芸文協の組織についてだが、コミ振がそれぞれ独自に活動している。「一緒にできないか」と話しかけたこともあったが、「昔からこうしているから」ということだった。すぐに一緒にするのは難しいとしても、連携してメインイベントのようなものをして盛り上げていきたいと思う。平田は映画や劇団などをして盛り上がっている。松山でも、全体で盛り上げるため、コミ振の話し合いをどこかでやってもらいたい。合わせて、小さいグループがたくさんあるので、どこかで代表者を集めることも必要だと思う。例えば地域協議会ではそのようなことはできないか。

(平向邦夫会長)

地域協議会としては、行事の主催者になるようなことは難しい。

5 閉 会

○閉会の言葉 出嶋支所長